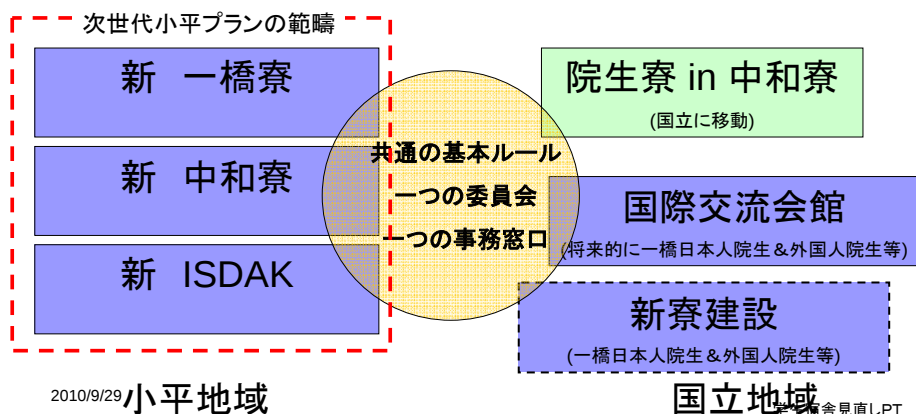


- 原則、日本人学生＋留学生が混住
- 大学院生を国立地域、学部生を小平地域に集結
- 運営ルール、委員会、事務窓口の一本化



① 一橋寮

- 新3年生のうち、国立中和寮に移生40-44名。
- 小平を希望する学生はS/N棟。留流を希望する者はISDAKへの移流

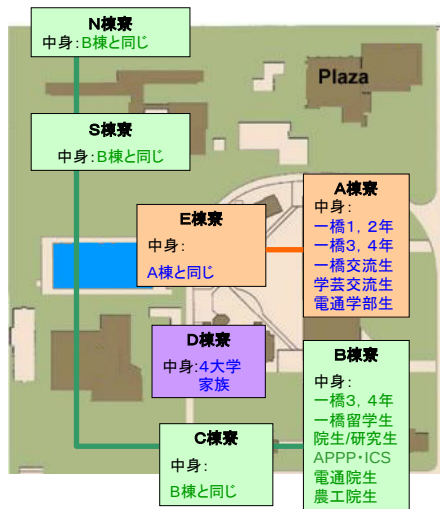
② 院生寮

- 国立中和寮に、新院生や現院生が

③ 中和寮

- ①と②の余剰分は新中和寮生または現生が入居

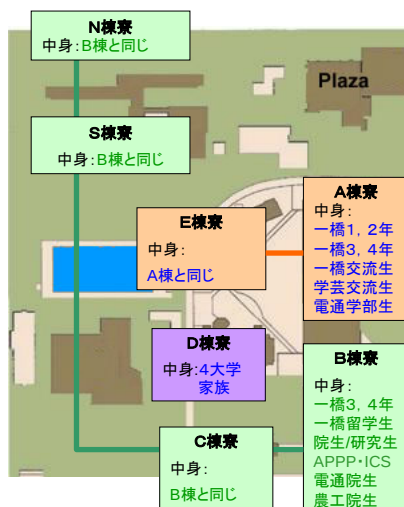
第2ステージ: 最終形にむけて、これから検討予定



2010/9/29

学生宿舎見直しPT

After: 次世代小平プランの完成形(4年後)



2010/9/29

学生宿舎見直しPT

- 棟ごとの寮委員会を設置(A棟寮委員会、E棟寮委員会..)。
- 交流学生や1,2年→A,E棟(交流重視)
- 3、4年や留学生院生→B,C,S,N棟(個人重視)
- 夫婦・家族→D棟
- 各寮組織は日本人学生と留学生とで構成される
- A,E棟にある6人共有ユニットは交流学生4人+彼らを支援するコミュニティアシスタント(CA)が優先的に入居、余った部分にその他の学生が入居
- 指導主事は棟(寮組織)毎にアサイン、レジデントアシスタント(RA)と月例会議を持つ